

まちの日記帳



水と親しむ 「親子でプール遊び」 アクアリズム

7/23

町住民福祉課、教育委員会、子育て支援センターが共催で、3歳未満の児童を対象に実施する「アクアリズム」が海洋センタープールで行われました。

水へ親しみを持ち、親子で水あそびを楽しむ今回の催しには親子9人が参加。

ボールや浮き輪をいっぱい広げたプールに子どもたちは大はしゃぎで、音楽に合わせて体を動かすなど、約1時間親子で楽しい時間を過ごしました。



映像やクイズで観光PR 札幌ふるさとステージ

7/23

積丹観光協会(佐藤勝次会長)は、サッポロビアガーデンのステージイベント「ふるさと北海道応援ステージ」に参加しました。

これは、道内各地域がグルメや観光情報を紹介するもので、参加した町観光協会は会場内に設置された特設ステージで観光PRビデオや積丹町にちなんだクイズを行いました。

会場いっぱいのお客様と一体となり、クイズの正解者には、旬の「カップウニ」がプレゼントされるなど、会場を沸かせました。



積丹町で後志俳句 大会を開催

五・七・五で結ぶ日本の四季

7/25

後志管内の俳句愛好家が集まる第38回後志俳句大会(成田智世子実行委員長)が町総合文化センター交流大ホールで開催され、67人が参加しました。

当日は、記念撮影、開会式に引き続き「海霧」の席題が発表され、参加者は、想像力豊かに、日本の美しい四季を五・七・五の句で表現しました。

また、講師に余市町在住の横村楓葉氏を招き、記念講演や事前に参加者から投稿された句の講評が行われるなど、日本の伝統文化である俳句づくりの交流が行われました。



水んかこわくない! ジュニア水泳教室

7/27・28・29

町教育委員会が主催する「B&Gジュニア水泳教室」が行われ、小学生24人が参加しました。水への恐怖心を克服することを最大の目的に実施された教室は、B&G財団が主催し、全国で同時刻に一斉に行われる「4人5脚」への参加や、「水中玉入れ」など水中レクリエーションを通じ、水と楽しく接しました。

また、水の事故を防ぐため、身近なペットボトルを使つての救助体験も行われるなど、楽しみながらも、真剣に取り組む水泳教室となりました。



夏を満喫！

商工会青年部「ビアガーデン」と「神威鶴祭りin番屋」開催

7/24



▲ビアガーデン（商工会前）

商工会青年部（八戸伸幸部長）が主催するビアガーデンが産業会館前で行われました。今年で3回目となり、地域にも定着したこのビアガーデンには、家族連れや近所同士などたくさんの方が来場し、会場は賑わいました。

商工会女性部や積丹ジュニアスイミングクラブも出店し、焼きそばやとり串などの販売を行い、会場を盛り上げました。

また、同じこの日、旧ヤマシメ福井邸でやん集小道づくり推進協議会（成田静宏会長）が主催する「神威鶴祭りin番屋」

▼「神威鶴祭りin番屋」（旧ヤマシメ福井邸）



◀みなと保育所

▶びくに保育所

も催されました。

明治24年から余別町で造られた日本酒「神威鶴」は、今年で誕生119年になります。昭和58年に製造を田中酒造（小樽市）に移した今も多くのファンに親しまれています。

そんな「神威鶴」にちなんだ暖簾やお猪口などたくさんのお品々を白方謹朗さん・勢子さん夫妻から寄贈を受けての実施となりました。

町内外から集まった約80人は、当時の番屋の雰囲気と神威鶴を味わいながら楽しい時間を過ごしていました。

保育所で七夕まつり

「願い事が叶いますように」

8/6

毎年恒例の父母会が主催する七夕まつりがびくに保育所・子育て支援センターとの合同、みなと保育所でそれぞれ行われました。

「お姫様になりたい」「縄跳びが上手になりたい」など思い思いの願い事が書かれた短冊が所狭し飾られた所内では、スーパーボールすくいやヨーヨー釣り、綿あめコーナーなどの縁日に子どもたちは大興奮。

お化け屋敷に泣き出す園児もいましたが、最後には花火大会も行われ、親子での楽しい思い出となる一日となりました。

札幌北高校吹奏楽部

サマーコンサートin余別

8/8



今年も札幌北高等学校吹奏楽部のサマーコンサートが余別小学校体育館で行われました。余別小学校での夏の合宿の最終日に地域へのお礼と合宿の成果を披露するもので、この日は保護者や町民約50人が来場しました。

この日は、「ワシントン・ポストマーチ」や「余別小学校校歌」など全6曲を披露し、全道吹奏楽コンクールで金賞を目指す迫力ある演奏に会場からは大きな拍手が送られました。